

# ラグビーボールを使った “だるまさんがころんだ”に挑戦!

うんどうの達人プログラム

【4・5歳児対象】

準備物

- ラグビーボール
- 笛
- マーカーやカラーコーン 4個

## 3つのポイント『楽しさ』『コミュニケーション』『体力向上』

### STEP 1 ボールを使用する際のお約束&準備運動

10分

#### 環境構成

- 活動前にボールを準備しておく  
→ お約束確認用に1つボールを持っておく



#### 活動の進め方

- ① 子ども達へボールを見せ、興味を持ってもらう  
→ 先生は「どんな形をしている?」「重さは?」「硬さは?」など声かけを行う  
→ ビーナッツの様な形をしているのでボールが不規則に動く為、跳ねたボールに当たってしまうことや、ボールをお友達にぶつけると痛いということを説明する
- ② 後ほどボールを使って楽しむことを伝え、子ども達にはまだボールに触らせない
- ③ 準備運動は一般的な「膝の曲げ伸ばし」「アキレス腱伸ばし」など、慣れているものを実施する  
→ 準備運動の際に「今日は楽しくたくさん動こうね!」などと、子ども達がワクワクするよう声かけを行う

### STEP 2 導入(ストップ&ゴー)(だるまさんがころんだ)

10分

#### ストップ&ゴー

##### 環境構成

- 一人一人の間隔を大きく取る
- 事前に危ない箇所などにマーカーやカラーコーンなどを置き、子ども達に近づかせないようにする

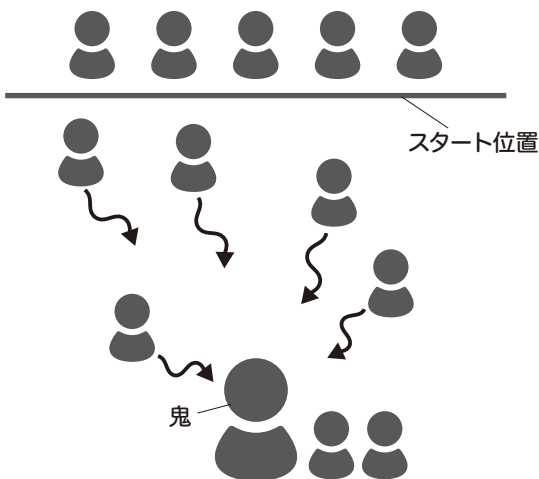
##### 活動の進め方

- ① ゆっくり歩きながら(歩くコースは定めない)笛の合図に合わせて立ち止まる  
→ ぶつかったりころんだりしないように注意を促す  
→ 止まる際のポーズを変えるなどして変化をつけて楽しむ  
→ 動きに慣れてきたら、スピードを上げてみる

#### だるまさんがころんだ

##### 環境構成

- 5~6人で1グループを作り横一列に並ぶ  
その他のグループもその後ろに横一列に並んでおく



##### 活動の進め方

- ① だるまさんがころんだのルールを説明する  
→ 鬼役を先生が行い、子ども達は鬼から離れたところに並ぶ  
→ 鬼が木や壁を向いて腕に目を伏せて「だるまさんがころんだ」と大きな声で言っている間に子ども達は鬼に近づく  
→ 鬼が言い終わり振り返ったときに、動いていた子どもは鬼と手をつなぎ仲間の助けを待つ  
→ だんだんと鬼に近づいていき、鬼とつかまってしまった子どものつないだ手にタッチするとそのグループの子ども達は一齐にスタート位置まで逃げる
- ② 実際にだるまさんがころんだに挑戦する

## トライを決めるだるまさんがころんだ

## 環境構成

- 5~6人で1グループを作り横一列に並ぶ  
その他のグループもその後ろに横一列に並んでおく
- 前のグループから順にボールを配布する
- ボールを持つときのお約束(お話中はボールを手放さない、人にぶつけないなど)を伝える
- 鬼の近くにマーカーやカラーコーンを使い、わかりやすくゴールエリアを設定する



## 活動の進め方

- ① トライを決めるだるまさんがころんだのルールを説明する
  - ➡ 鬼が「だるまさんがころんだ」と言っている間にボールを持ったまま子ども達は鬼に近づく
  - ➡ 鬼が言い終わり振り返ったときに、動いていた子どもはスタート位置に戻ってやりなおし
  - ➡ だんだんと鬼に近づいていき、ゴールエリア内で「トライ」を決めたらゴール
  - ➡ トライを決める際に「トライ!」と試みるように声かけをする
  - ➡ 全員がトライできるよう、ゴールした子どもは鬼の横からお友達を応援する
  - ➡ グループ全員がトライを決めたら、スタート位置に戻り、先頭グループにボールを渡して列の一番後ろに並ぶ
- ② 実際に先生がトライの見本を見せる
- ③ 実際にトライを決めるだるまさんがころんだに挑戦する
  - ➡ 慣れてきたら鬼が「だるまさんがころんだ」と言い終わり振り返ったときに、その場で地面にトライをさせたり、ルールを変えながら楽しむ
  - ➡ 持って運ぶだけでなく、転がして運ぶなどボールの運び方のルールを変えながら楽しむのも良い

